



製造業安全対策に関するトップ会談

セッション2 経営理念と安全対策 (鉄鋼業)

2017年9月28日

一般社団法人 日本鉄鋼連盟
会長 進藤 孝生

●社の基本規程（技術標準管理規程）に「安全最優先」を明記

当社は**安全・環境・防災は全てに優先する**原則をはじめとする「当社ものづくり価値観」（即ち、**安全・環境・防災が第一優先**、品質は第二優先、生産は第三優先とする。）を堅守し、全ての活動に取り組む。

●新日鐵住金 安全衛生基本方針：社長就任時に自署・全社配布の上、掲示

<理念>

1. 新日鐵住金グループにおいて、**安全と健康は、全てに優先する最も大切な価値**であり、事業発展を支える基盤である。
2. 「**人を育て活かす**」という経営理念の下、新日鐵住金グループで働く人々の**安全と健康を確保するための努力を継続的**に行うとともに、**安全衛生を通じて社会に貢献**し続ける。

<具体的指針>

1. 関係法令を遵守すると共に、全ての業務の判断において**安全と健康の確保を最優先**とする。
2. 職場実態を把握し、安全と健康の確保に必要な指導を行うと同時に、**災害に結び付く要因の除去**に取り組む。
3. より安全で健康的な作業・作業環境実現のため、**設備面からの対策を計画的に実施**する。
4. **ルール遵守、危険予知**などを確実に実施するとともに、安全衛生水準を向上させるための**職場活動を積極的に実施**する。
5. 当社グループで働く人々の安全と健康を確保するため、必要な**教育を実施**する。
6. **安全衛生マネジメントシステム**を通じて、安全衛生の取り組みを**継続的に充実・向上**させる。

<活動の一例>

1. 課題のある職場への個別重点指導 ～「安全エキスパートチーム」の投入

- ・ミーティングのやり方から細かく指導（協力会社含む）
- ・作業実態の把握、改善活動の指導及び進捗フォロー

安全エキスパートによる現場指導の様子



2. 本質安全化の加速 ～「機械安全化」の加速を徹底

フルプルーフ・フェールセーフに基づく
「可動ライン巻き込まれ対策」を中心に機械安全化促進

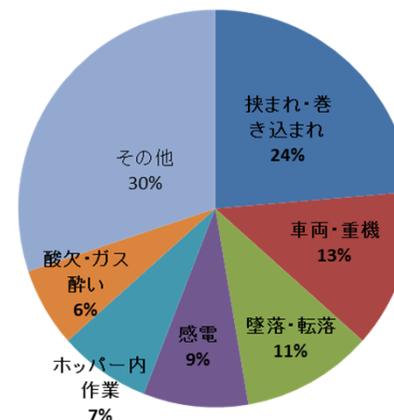
安全柵：可動設備への接近制限 電磁ロック扉の設置



3. 繰り返し災害の撲滅

- ・過去の重篤な災害や繰り返す災害【93件】（過去9年間）を徹底分析
- ・全社統一的施策の設定と事業所横断で対策進捗を確認

繰り返される過去災害の類型分析



4. 危険感度・危険予知能力向上教育

- ・危険体感教育の強化
 - 全事業所に体感施設を設置
 - 直協全従業員が受講

墜落・転落体感

巻き込まれ体感

